

広域振興局長

提出者 株式会社アイオー精密

住所 岩手県花巻市東十二丁目17-1-1

氏名 代表取締役社長 鬼柳一宏

(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

## 地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

## 1. 事業者に関する事項

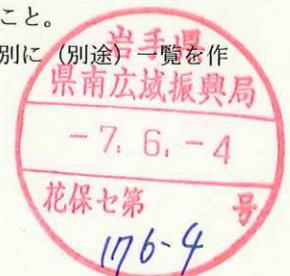
主たる工場又は事業場の名称	株式会社アイオー精密	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	花巻市東十二丁目17-1-1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	2,096 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

## 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
本社工場	花巻市東十二丁目17-1-1	1,231 kℓ
特注パーツ工場	花巻市東十二丁目19-10-54	332 kℓ
東和工場	花巻市東和町小友1区385-1	533 kℓ

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）





別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	( )年度					E-B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位 B	数値 C	単位 D	熱量(GJ) E				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL				
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL				
揮発油(ガソリン)		kL			kL				
ナフサ		kL			kL				
ジェット燃料		kL			kL				
灯油		kL			kL				
軽油		kL			kL				
A重油		kL			kL				
B・C重油		kL			kL				
石油アスファルト		t			t				
石油コークス		t			t				
石油ガス	191.00	t	9,569		t	9,569	572	572	
液化石油ガス(LPG)		t			t				
石油系炭化水素ガス		㎥ <sup>3</sup>			㎥ <sup>3</sup>				
液化天然ガス(LNG)		t			t				
その他可燃性天然ガス		㎥ <sup>3</sup>			㎥ <sup>3</sup>				
化石燃料	石炭	輸入原料炭	t		t				
		原料炭	t		t				
		コークス用原料炭	t		t				
		吹込用原料炭	t		t				
		一般炭	t		t				
		輸入一般炭	t		t				
石炭コークス	t		t						
石炭	t		t						
コールタール	t		t						
コークス炉ガス	㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>				
高炉ガス	㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>				
発電用高炉ガス	㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>				
転炉ガス	㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>				
都市ガス	㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>				
その他の燃料	( )								
( )									
黒液	t		t						
木材	t		t						
木質廃材	t		t						
バイオエタノール	kL		kL						
バイオディーゼル	kL		kL						
バイオガス	㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>						
その他バイオマス	t		t						
RDF	t		GJ/t						
RPF	t		GJ/t						
廃タイヤ	t		GJ/t						
廃プラスチック(一般廃棄物)	t		GJ/t						
廃プラスチック(産業廃棄物)	t		GJ/t						
廃油	kL		GJ/kL						
廃棄物ガス	㎥ <sup>3</sup>		㎥ <sup>3</sup>						
混合廃材	t		t						
水素	t		t						
アンモニア	t		t						
その他燃料	( )								
小計①						9,569	572	572	
産業用蒸気	GJ		GJ						
産業用以外の蒸気	GJ		GJ						
温水	GJ		GJ						
冷水	GJ		GJ						
地熱	GJ		GJ						
温泉熱	GJ		GJ						
太陽熱	GJ		GJ						
雪氷熱	GJ		GJ						
小計②									
電気事業者①	6,972.81	千kWh	60,245		千kWh	60,245	2,803	2,803	
電気事業者② ※後述の通りしている場合使用	1,324.69	千kWh	11,445		千kWh	11,445	533	533	
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh				
太陽光		千kWh			千kWh				
水力		千kWh			千kWh				
風力		千kWh			千kWh				
その他		千kWh			千kWh				
小計③						71,690	3,336	3,336	
合計 ①+②+③						81,260	3,908	3,908	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	2,096	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	3,908	t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
メタンの排出量			t-CO <sub>2</sub>
一酸化二窒素の排出量			t-CO <sub>2</sub>
六フッ化硫黄の排出量			t-CO <sub>2</sub>
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO <sub>2</sub>
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO <sub>2</sub>
三ふっ化窒素の排出量			t-CO <sub>2</sub>
合計		3,908	t-CO <sub>2</sub>

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

## 別紙 その2

### 1 地球温暖化対策計画の達成状況

#### 【目標値の達成状況(進捗状況)】

目標値:3ヶ年計画→2023年度(2,092kl※3工場合計)比較で2026年度までに30%削減する事が目標です。

・2024年度(計画1年目): 2,096kl

エネルギー原単位として昨年比で5~10%削減する目標を掲げ、各工場で省エネ活動を展開しましたが、1年間でプラス0.2%の増加となりました。目標達成まで、あと30.2%削減する必要があります。

#### 【具体的な取組状況】

電力について

①3ヶ年計画に基づき、エアコンの温度・湿度・ON・OFF管理(時間タイマーによるOFFを含む)の徹底、各生産設備機器類の停止時間管理の徹底、設備待機電力の削減、照明器具のON・OFF管理(人感センサ含む)及び、製造で使用する圧縮エア-の漏れ点検・修繕による省エネ活動を継続し、電力使用量の削減に努めましたが、製造ライン増設による機械設備数の増加や、そのインフラ設備(照明、空調器、圧縮釜、排気設備など)の電気使用量の増加並びにその建設工事と、東和工場の太陽熱パネル設置工事で電力が必要となった為に、エネルギー原単位の削減には至りませんでした。

※2025年4月1日から東和工場で太陽光パネルの運用を開始しました。想定発電量411,524kwh/年、CO2排出削減量210.7t/年の見通しとなります。弊社太陽パネルに関連するURLは下記となります。

<https://www.aio-precision.co.jp/news/2025/04/04/5532>

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

### 2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ①2024年6月1日より本社工場の一部電力(30%)を東北電力再生可能エネルギー、「よりそう、再エネ」CO2フリー電力の導入により、年間のCO2排出量として、マイナス617 t-co2の削減となりました。
- ② 本社工場で太陽光パネルの設置を計画中です。
- ③ 本社工場で社用車として電気自動車x1台の購入を検討中です。

※環境保全に対する企業理念「AIO ECO宣言」を策定し、社内共有すると同時に自社HPの下記URLで公表しております。※全工場のCO2排出量合計(年度ごと)を自社ホームページに公表しております。

<https://www.aio-precision.co.jp/company/csr eco>

※アイオー精密「SDGs宣言」を策定し、社内共有すると同時に自社HPの下記URLで公表しています。

<https://www.aio-precision.co.jp/company/csr sdgs>

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	( )	ℓ	2.29 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	kg-CO <sub>2</sub>	
軽油	( )	ℓ	2.62 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	kg-CO <sub>2</sub>	
LPG	( )	kg	2.99 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気		kWh	0.402 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>	
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	0 ( 0 )			kg-CO <sub>2</sub>	

備考1 保有台数欄の( )には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項